

2023

令和5年

6
 日 月 火 水 木 金 土
 1 2 3
 4 5 6 7 8 9 10
 11 12 13 14 15 16 17
 18 19 20 21 22 23 24
 25 26 27 28 29 30



www.wacnet.jp

5

運営主体 NPO法人福祉住環境地域センター／NPO法人たすけあい三河

地域の茶の間「みんなの居笑」一日利用料 300円／回
 ボランティア会員募集中！！ 一汁一菜ランチ 300円

地域の居場所

営業時間
 土日除毎日 10:00～16:00
 豊橋市向山大池町3番地1
 (南瓦町信号すぐ通り沿い)

みんなの居笑

担当：今泉

WAC NET

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
1 友引	2 先負 TOYOHASHI BRUT ⇒ まちなかギャラリー (5/3～5/31) @福祉の窓口 WAC+ @WAC アグリカフェ	3 仏滅 憲法記念日 ●エンディングノートの 作成教室(書き方) ㊟ ●自分史塾 ㊟ 9:30～12:00	4 大安 みどりの日 ● 아이폰教室 ㊟ 13:30～14:30	5 赤口 こどもの日 フードオアシスあつみ山田店 有機朝市 8:30～11:00 有機無農薬野菜	6 先勝 ●みんなの居笑 絵画クラブ ㊟ 14:00～15:30	7 友引
8 先負 ●前向き終活セミナー ㊟ 10:00～12:00 ●輝け未来セミナー ㊟ 14:00～15:30	9 仏滅 ●居住支援住宅相談会 ㊟ 13:00～17:00(予約要)	10 大安 もったいない 回収日 ●自分史塾 ㊟ 9:30～12:00	11 赤口 ●映画ファンのおひ 14:00～	12 先勝 フードオアシスあつみ山田店 有機朝市 8:30～11:00 有機無農薬野菜	13 友引 ●こども志向塾 ㊟ ●みんなの居笑 絵画クラブ ㊟ 歌カフェ ㊟	14 先負
15 仏滅	16 大安 ●もっと身近に「成年後見塾」 ㊟ 10:00～12:00	17 赤口 ●エンディングノートの 作成教室(成年後見) ㊟ ●WAC 見学ツアー ㊟ 10:00～15:30	18 先勝 ● 아이폰教室 ㊟ 13:30～14:30	19 友引 もったいない 回収日 フードオアシスあつみ山田店 有機朝市 8:30～11:00 有機無農薬野菜	20 仏滅 ●みんなの居笑 絵画クラブ ㊟ 14:00～15:30	21 大安
22 赤口	23 先勝 ●居住支援住宅相談会 ㊟ 13:00～17:00(予約要)	24 友引 ●自分史塾 ㊟ 9:30～12:00	25 先負 ●映画ファンのおひ 14:00～	26 仏滅 フードオアシスあつみ山田店 有機朝市 8:30～11:00 有機無農薬野菜	27 大安 ●みんなの居笑 絵画クラブ ㊟ 歌カフェ ㊟ 13:30～15:30 500円	28 赤口
29 先勝	30 友引 もったいない 回収日	31 先負 ●自分史塾 ㊟ 9:30～12:00	WAC農園 & 協力隊! 只今募集中!! 0532-52-4315 担当：吉田 ・スタッフ ・パート ・ボランティア ・プロボノ 			

コラム

VOL. 58

「共生する父と子
大江健三郎・大江光」

大江光が生きる世界がそこにあった。同時にそこは大江健三郎が生きる世界でもあった。共生する父と子、大江健三郎が3月3日他界した。享年88歳であった。すべては、彼の故郷、愛媛県喜多郡大瀬町(現内子町)から始まった。大瀬村は、森に囲まれ

た谷間の村で、松やクヌギなど雑木が生い茂り、朝の目覚めは鳥たちの奏でるささやきから始まる。陽射しは、ゆっくりと森に影を落とす。小田川の流れる。自然そのもの、春夏秋冬音楽を奏でる。時間と空気は清として、ゆっくりと人々を包み込む。

28才の時、1963年(昭和38年)6月13日に大江光(ひかり)は頭蓋骨異常のため知的障害をもって生まれる。4歳になっても能動的な言葉は話さず、意志の疎通は難しかった。ただ鳥の声のテレビ番組だけは関心を示した。父は子に、鳥の声を

紹介するアナウンスが入った鳥の鳴き声をテープにとり毎日繰り返し聞かせた。ある夏、避暑で訪れた軽井沢の杜の中を、息子の光を肩車して散歩している時に、鳥の鳴き声が聞こえて、その後、頭の上から「クイナ、です。」と声が聞こ

えたという。一瞬何が起こったのか...わからなかったが、生まれて初めて聞いた息子の「声」だった。幻聴かも知れないと思い、もう一度クイナが鳴かないかなと祈った。(大江健三郎「静かな生活」講演より)絶対音感をもつ彼は、クラシック音楽に強い関心

を示し、11才からピアノレッスンを始め、13才で作曲も始める。1992年10月に最初のCD「大江光の音楽」を発表する。1994年9月リリースした第2集「大江光ふたたび」が日本ゴールドディスク大賞を受賞。1996年にはおじの伊丹十三監督の映画「静

かな生活」で日本アカデミー賞優秀音楽賞を受賞する。その後、父の講演会に同行して登壇する機会も増えていく。大江健三郎の作品も1963年発表の「個人的な体験」から息子の光の存在がテーマをつくる。それは彼に日常を取り戻すこと

につながる。主人公の「鳥(バード)」は、これまでの作品と同様に、現実逃避的な心性からアフリカへの逃避する願望を持つ。しかし、「鳥」は生まれてきた脳に重い障害をもつ赤ん坊を見捨てるか、手術を受けさせて生かすかの決断の前で揺れて、最終的

には回心してアフリカへの幻想を捨て、子どもとともに生きる覚悟を決める。同年、広島に何度も訪れた体験や、原水爆禁止世界大会に参加した体験を基に「ルポルタージュ「ヒロシマ・ノート」の連載を開始する。障害をもつ子との共生、核時代の問題という終

生のテーマを同時に手にしたこの年は、彼にとっても重大な転機となった。大江健三郎『個人的な体験』(ノーベル文学賞受賞)

その後の父と子とをモチーフにした作品が次々と生まれていく。「万延元年のフットボール」遺米使節が渡航した万延元年(1860年)から安保闘争(1960年)の100年を四国の谷間の村を舞台に起こる様々な傷を抱えた家族の回復の物語。1973年の「洪水はわ

か魂に及び」は、核シェルターに閉じこもる主人公大木勇魚とその子で知的障害をもつ幼児ジンと交流する不良少年たち。核状況下における終末観的世界と破壊へ向かう先進文明に対抗するスピリチュアルな祈りがテーマであった。1983年の「新しい人よ眼ざめよ」は、

ヴァルネラブルな父と子が、障害を持って生まれざるをえなかった息子に対する遺恨と罪の許し、自分の来るべき死と、息子ともどもの再生への思いを綴る。大江健三郎59才の時、1994年川端康成に次いで日本人として二人目と



MENU	価格(税別)
・ワンプレートランチ(ご飯・スープ付)	1300円
・カレーセット(サラダ付)	800円
・あんかけ湯豆腐セット(ご飯付)	800円
・スープセット(サラダ・ご飯付)	800円
・サンドイッチセット(サラダ付)	800円
※上記のメニューにドリンクは200円です	



安全な食材・安心な加工品！料理は自然食品にこだわります！有機栽培米から加工品、調味料まで徹底的にこだわります。WAC農園産有機栽培の20種類以上の旬の野菜を使用した自然食ランチをお楽しみください。

健康の泉 水素水 無料提供 ※ボトル1000円/本 初回のみ必要となります！

WAC agri cafe

